



牧野由朗教授 近影

略 歴

大正一五年 愛知県豊橋市生れ

昭和二九年 愛知大学文学部卒業後、同学部副手、

助手、講師、助教授を経て

同 四六年 文学部教授（社会学担当）

同 四七年 短期大学部（第一部）部長

同 五六年 文学部長（その間、国際交流委員長、

中国学術交流委員長兼務）

同 六三年 愛知大学理事・学長

同 六三年 日本私立大学連盟理事

同連盟学長会議運営委員、同連盟教

育研究問題検討部会委員

同 六三年 大学基準協会評議員

同 六三年 霞山会理事（現在顧問）

平成元年 私立経済福祉会評議員を経て同監事

平成二年 私立大学団体連合教育改革委員

平成六年 上海交通大学日本科学教育研究会顧

問

平成七年 北京第二外国语学院名誉教授

主な業績

著書・編書・共著Ⅱ『志摩漁村の構造』(名著出版)、
『日本の沿岸文化』(古今書院)、『東海社会論』
(東信堂)、『社会学への招待』(誠信書房)、『地域の社会学』(税務経理協会)、『愛知県開拓史』(愛知県)、『大学教育の刷新をめざして』(日本私立大学連盟)、その他多数(ほか略、順不同)
論文Ⅱ「豊川用水の開通と渥美農業・農村の変容」、
「豊川総合用水事業と流域社会の変容」(いずれも愛知大学総合郷土研究所紀要)、「動力船の展開と沿岸漁村の変容」(九学会連合『人類科学』第三八集)、「漁村社会の変容」(ソシオロジー二〇卷二号)、「漁業協同組合の性格と変容」(社会学評論第六八号)、「親交関係からみた山村の家結合型態」(愛知大学文学論叢一八輯)、「一九九〇年代の高等教育計画(I D E『現代の高等教育』)、その他多数(ほか略、順不同)